

INSTRUCTIONS

フジカ コンパクト 35 の使い方

**FUJICA**

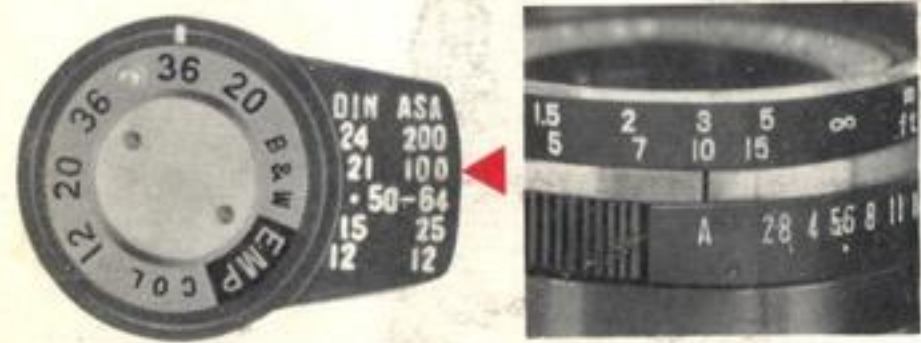
**FUJICA COMPACT**

**35**





## 写し方はとても簡単です



フィルムの感度を合わせます。まず、露光指数切替えレバーを動かして、お使いになるフィルムの露光指数を◀印に合わせます。たとえばネオパンSS、フジカラーR100、N100なら露光指数は100です。

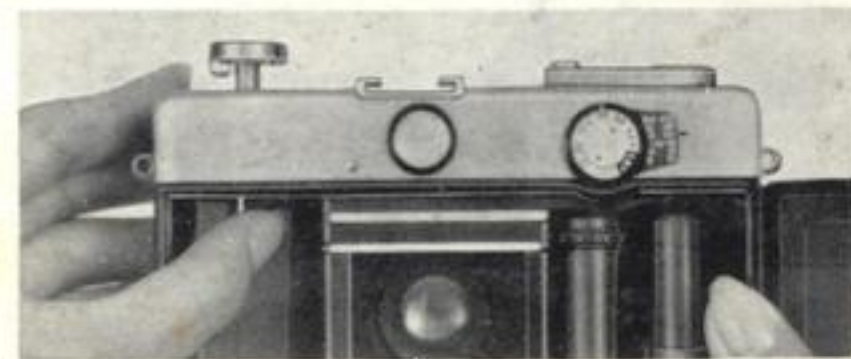
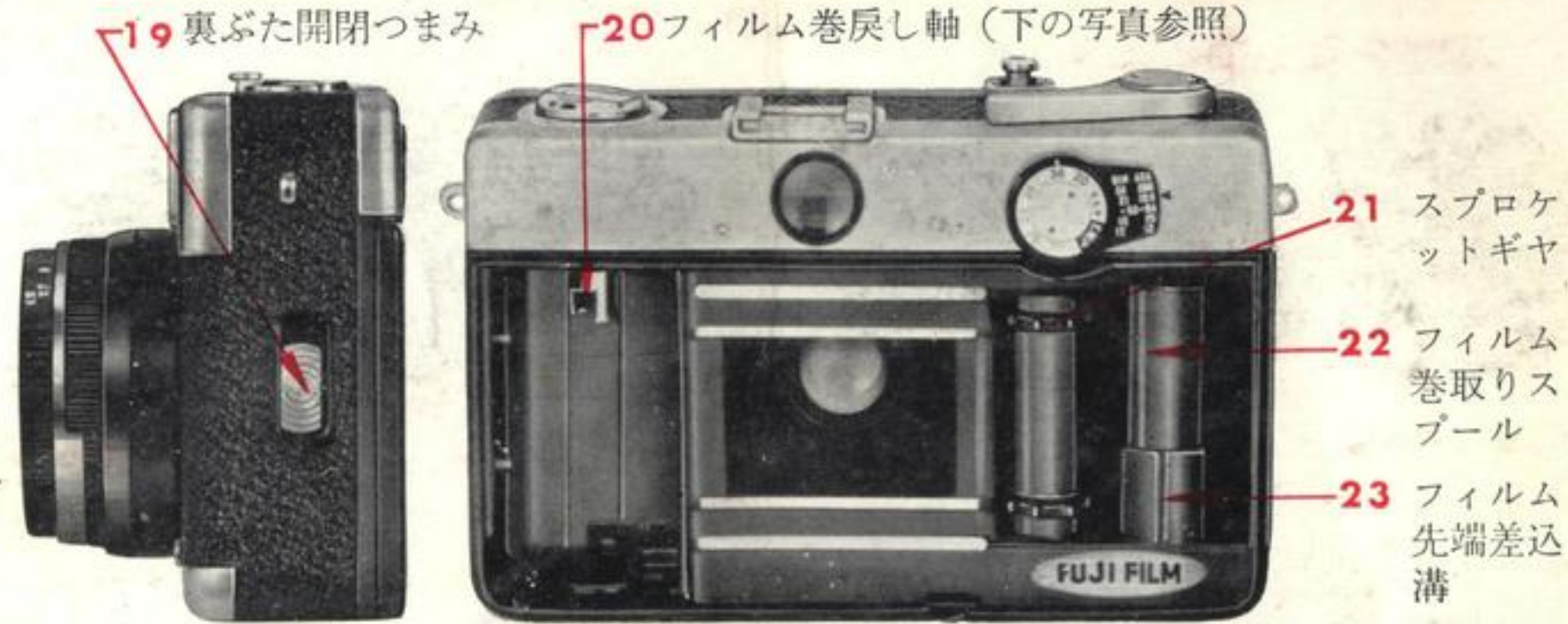
つぎに目盛をAにします。絞りリングをまわして、赤い目盛にA(オート)を合わせます。これで自動露光機構がセットされたこととなります。手動露光にしたい場合は14頁と15頁を参照してください。



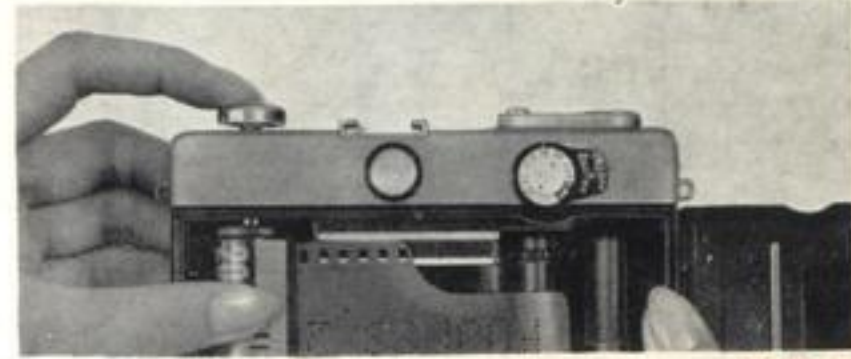
ピントは絵で合わせます。ファインダーを見てください。写真のように4つの絵と指針が見えます。焦点調節リングを動かして、指針を目的の絵に合わせるだけで、正しいピントを結びます。



あとは狙いをきめてシャッターを切るだけです。巻上げレバーの一操作で、フィルムが1コマ分送られ、同時にシャッターがセットされます。またシャッターを切らないとフィルムは巻上げられません。



(A) フィルムを装てんする前に、フィルム巻戻し軸を上にあげておきます。

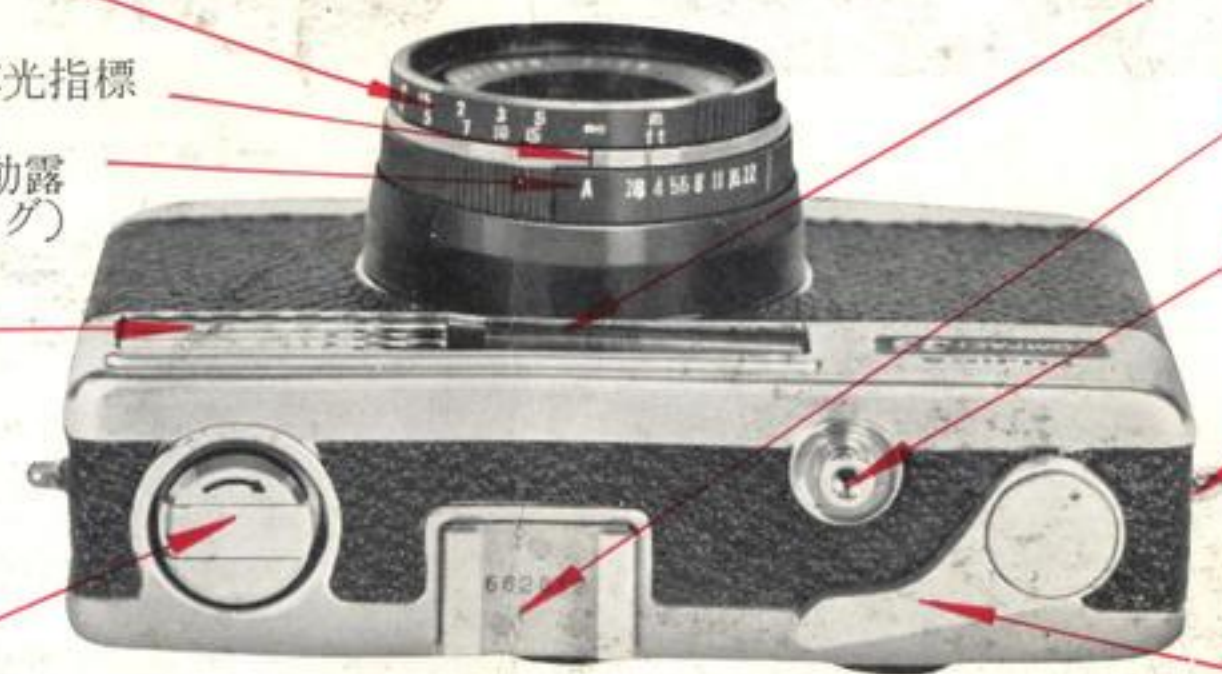


(B) フィルムを装てんしたのちは、巻戻しクランクを押し下げます。



# 各部の名称

- 1 焦点調節リング
- 2 焦点距離, 自動露光指標
- 3 絞りリング(自動露光セットリング)
- 4 露出計受光窓
- 5 フィルム巻戻し用クランク
- 6 ファインダー窓
- 7 アクセサリーシュー
- 8 シャッターボタン
- 9 吊り環金具
- 10 フィルム巻上げレバー



- 11 ファインダー接眼部
- 12 露光指数目盛指標
- 13 露光指数切替えレバー
- 14 フィルム種別指示板
- 15 手動シャッター速度セットレバー
- 16 三脚取付ネジ穴
- 17 フィルムカウンター窓(自動復元式)
- 18 フィルム巻戻しボタン





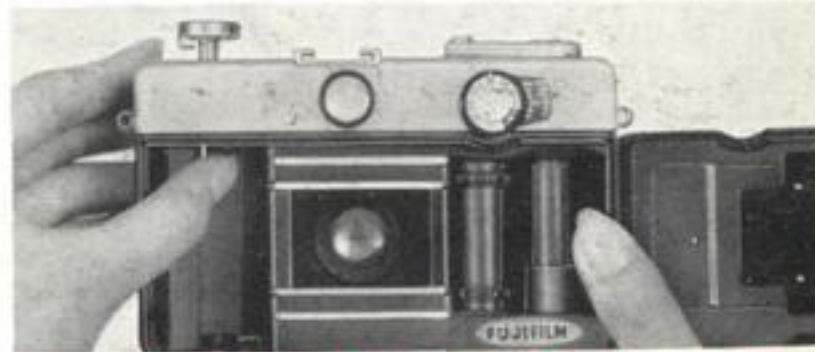
## フィルムの装てんは簡単です



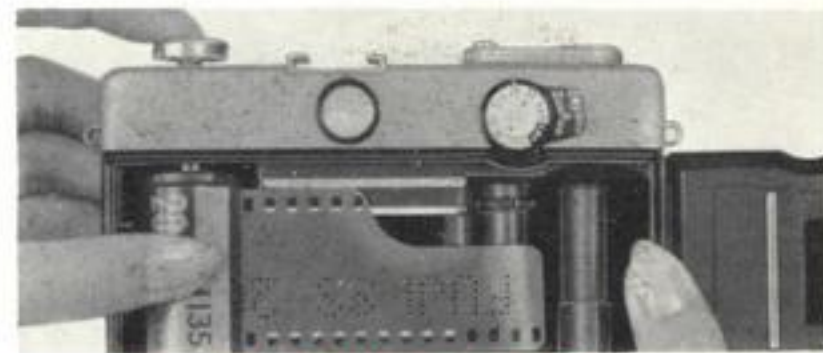
2. **裏ぶたを開きます** カメラの横にある開閉つまみを押し上げると、裏ぶたが開きます。



1. **フィルム感度をセットします** 露光指数切替えレバーを動かし、装てんするフィルムの露光指数を◀印に合わせます。



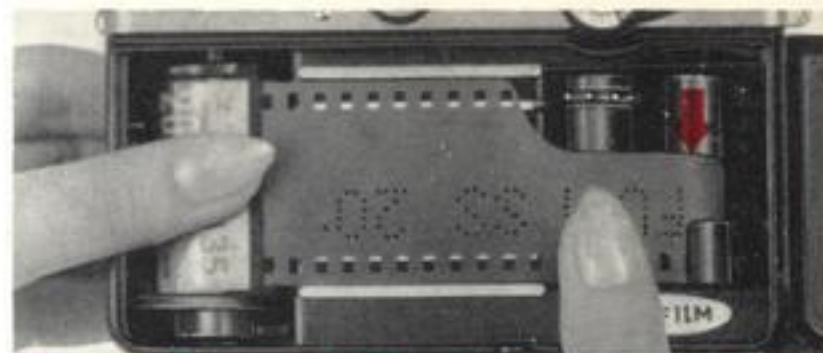
3. **フィルム巻戻し軸を上にあげます** 写真のように指でフィルム巻戻し軸を上いっぱい押しあげます。



4. **フィルムを装てんします** 写真のようにフィルムを装てんし、フィルム巻戻し用クランクをさげます。



6. **少し巻上げてからふたを閉めます** フィルムを軽く押さえて、一度、巻上げレバーを巻上げ、フィルムが進むのを確かめてから裏ぶたを閉めます。



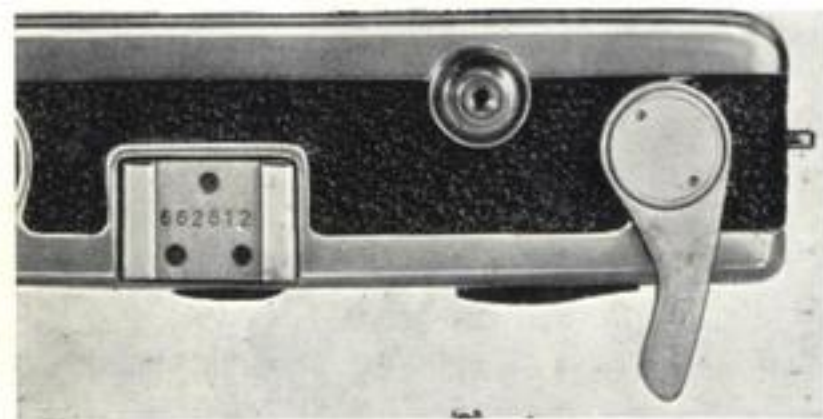
5. **巻取り軸の差込み溝にフィルムの先端を差込みます** 写真のようにフィルムを赤い矢印の方向に下端まで差込みます。



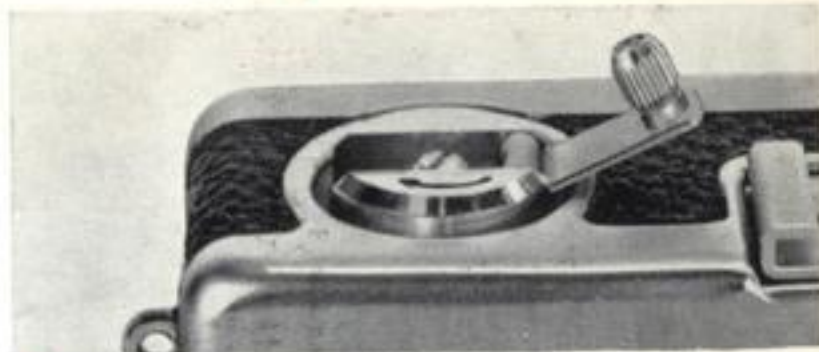
7. **フィルムカウンターの数字が1になるまでカラ写しします** 裏ぶたを閉めると底部のカウンターはS(スタート)になります。1までカラ写ししてください。



撮影が終ってフィルムを  
取り出す場合は



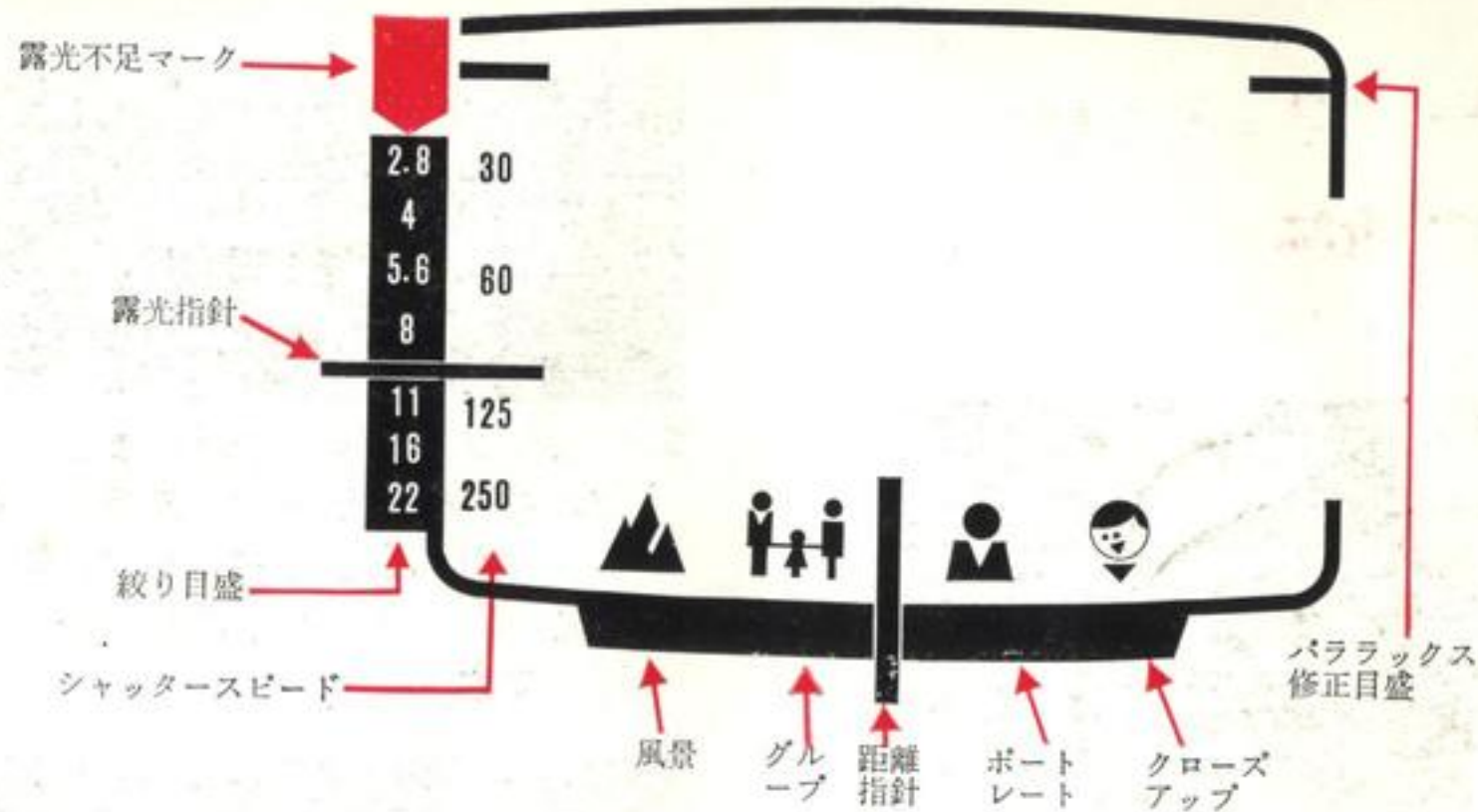
1. 巻上げレバーの巻上げが重くなって途中で止まるような場合はフィルムが終ったときです。無理に巻上げると、フィルムが切れますからご注意ください。フィルムの取りだしはつぎの順序でおこなってください。



2. まずフィルムを巻戻します。カメラ底部にある巻戻しボタンを押し、巻戻しクランクを起こして矢印の方向にまわし抵抗感がなくなったときにフィルム巻戻し完了です。



3. 裏ぶたを開き、巻戻しクランクの軸を上にあげてフィルムを取りだします。



ファインダーでピント合わせと露光測定ができます

ファインダーをのぞいてみてください。明るい銀白色の枠があります。この枠の内側がフィルムに写る範囲です。また、上部にパララックス(視差)修正目盛があります。





80 cm の距離で撮影する場合は、この目盛より下側に写すものを入れてください。

下の絵はピント合わせのマークで、左の数字は露光値を示します。(10・12頁参照)






## ピント合わせはこうして……

ファインダーをのぞきながら、焦点調節リングをまわしてみてください。ファインダー内の下部にある指針が、左右に動きます。もし顔のクローズアップ（80 cm 前後）を写す場合は、この指針を  のマークに合わせます。半身ぐらい（1.5m前後）の場合は  のマークに、全身（3～5 m）なら  のマークに、それ以上離れたときは  のマークに合わせます。

また、中間のこまかい距離を必要とする場合は、焦点調節リングの数字を距離指標（赤い線）に合わせてください。数字はmがメートルです。

 のマークで撮影する場合は、パララックス修正目盛の内側に写すものを入れてください。ポートレートなどでバックをボカしたいとき、また集合写真や風景などで全域にピントを合わせたい場合は、19頁の被写界深度表と14頁を参考にご利用ください。



風景



グループ



ポートレート



クローズアップ



## 自動露光で撮る場合は.....

絞りリングをまわして、目盛をA（オート）にしてください。あとは写すものにカメラを向けてシャッターボタンを押すと、ファインダー内の指針が動いて、そのときの適正露光値（絞り値とシャッター速度の組合わされたもの）を示します。

なお、指針が赤マーク内（A S A 200のときは2.8の中央より上）にあるときは露光不足ですから、フラッシュ撮影に切替えてください。（17頁参照）

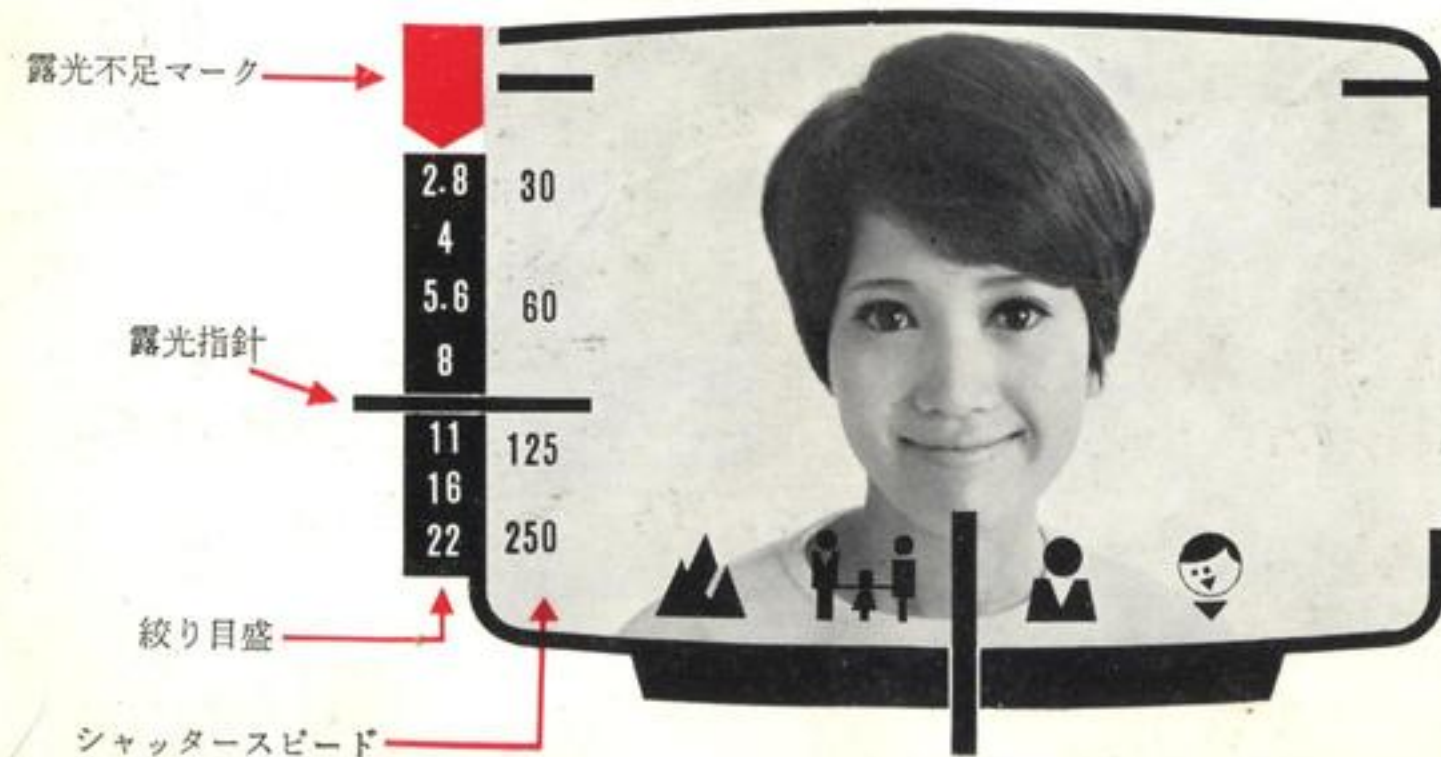
また、自動露光以外に手動露光もおこなえます。その場合は14頁と15頁をご覧ください。



オートにセット



シャッター・ボタンを押す





## 手動に切替えてシャッター速度や絞りが選べます

絞り調節リングをA（オート）にして、フィルムを巻上げずにシャッターボタンを押すと、ファインダー内の露光指針が働いてそのときの適正露光値を示します。この露光値を読みとって絞り調節リングをまわして、絞り値をセットし、つぎにシャッター速度レバーを動かして、速度をセットすると適正露光が得られます。

実際的な使い方としては、ポートレートなどでバックをボカしたいとき、あるいはパンフォーカス（全域にピン

ページの表を参考にして効果的な撮影がおこなえます。たとえば、指針が絞り値11、シャッター速度125を示している場合、絞りを8、シャッター速度を250に、あるいは絞りを16、シャッター速度を60にしても、適正露光量は変わらないわけです。

ですから、今の例でいうと、自動車の動きを止めたいと思うときは、 $\frac{1}{250}$ 秒のシャッター速度を選び、反対に遅いシャッター速度で追い写しをする場合は、 $\frac{1}{30}$ 秒のシャッター速度を選ぶこともできます。

## 手動にする場合は……



まず、絞り値をセットします。絞りリングをまわして、右表の適正露光値の絞り値をセットします。



つぎにシャッター速度をセットします。レンズ鏡胴の下側にシャッター速度セットレバーがあります。これを動かして、シャッター速度をセットします。

|           |           |          |         |         |
|-----------|-----------|----------|---------|---------|
|           |           | 2.8 30   |         |         |
|           | 2.8 125 ← | 4        | →       | 5.6 30  |
| 2.8 250 ← | 4 125 ←   | 5.6 60   | →       | 8 30    |
|           | 4 250 ←   | 8        | →       | 11 60 → |
|           | 8 250 ←   | 11 125 → | 16 60 → | 22 30   |
|           | 11 250 ←  | 16       | →       | 22 125  |
|           |           | 22 250   |         |         |

上表の真中がファインダー内に見える露光値で、黒が絞り値、白がシャッター速度を示しています。そして矢印にそった左右が同じ露光値を示す絞り値とシャッター速度の組み合わせです。指針が示した、左右の数値から選んでください。



## 特殊な撮影の場合

写すものの周囲の条件によって、自動露光の働きが変わってきます。

たとえば、写真のようにバックの大部分が暗い場合、露出計の受光窓にはこの暗い部分の影響を強く受けて、人物そのものは露光過度になりがちです。

そのような場合は、被写体に近付いて、シャッターボタンを軽く押して、ファインダー内の指針を停止させ、そのまま指を離さないで撮影位置に戻りシャッターを切ると適正露光が得られます。バックが明るい場合も同じです。

16 フィルターを使う場合は、その露光



16 倍数にしたがって、たとえばASA100のフィルムに露光倍数2倍のフィルターを使用するときは、露光指数切替えレバーを50にするとオートにしたまま撮影できます。

## フラッシュで撮るときは……



フラッシュ撮影をおこなう場合に、絞りリングをまわして、A(オート)をはずすと、シャッタースピードは自動的にAマークの $\frac{1}{30}$ 秒にセットされます。したがってあとはお使いになる閃光電球のガイドナンバーによって、絞り値をきめてください。

たとえば、ガイドナンバー40の閃光電球を使用して、距離5mで撮影する場合は、 $40 \div 5 = 8$ という絞り値になります。

Aマークで、ストロボ、F級M級のいずれにも、完全に同調します。



## 長時間露光をする場合は・・・

夜景などで、 $\frac{1}{30}$ 秒以上の長時間露光をおこないたい場合は、絞りリングのA（オート）をはずして、シャッター速度を「B」にセットします。

フィルムを巻上げて、シャッターをチャージしてから、シャッターボタンを押すと、押している間だけ、シャッター羽根が開いています。

この「B」を使用する場合にカメラは必ず三脚か、その他、がっしりしたものに固定してください。シャッター羽根が開いているときにカメラが少しでも動きますと、画像も動いてしまいますからご注意ください。

## フィルターを

### お使いになる場合は・・・

より美しい写真を撮るために、フィルターの使用をおすすめします。よく晴れた日には、紫外線の影響を受けやすいものです。そのような場合はカラーはもちろん、白黒フィルムにも紫外線をカットするUV・フィルターか、スカイライト・フィルターをお使いください。

また、昼光用のカラーフィルムを室内でお使いになる場合は、補正フィルターを必要とします。

なお、フィルターの口径は40.5mmです。（ネジ込み式 P=0.5）

## 被写界深度を活用しましょう

レンズは焦点を合わせた点を中心に、その前後のある範囲まで同様に鮮鋭な焦点を結びます。この焦点を結ぶ範囲を、被写界深度といいます。

下表の場合、たとえば絞りがf 8で、距離2mに焦点を合わせたとき、1.29mから4.48

mまでの範囲が鮮鋭に焦点を結びます。この表を参考に、ポートレートなどでバックをボカしたいとき、あるいは集合写真など全域に焦点を合わせたいときなど、手動(14頁参照)に切替えて効果的な撮影ができます。

|      | 2.8       | 4          | 5.6       | 8          | 11        | 16        | 22         |
|------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|
| 0.8m | 0.74~0.87 | 0.72~0.90  | 0.69~0.75 | 0.65~1.03  | 0.61~1.15 | 0.55~1.44 | 0.50~2.05  |
| 1    | 0.91~1.11 | 0.88~1.16  | 0.84~1.24 | 0.78~1.38  | 0.72~1.62 | 0.64~2.24 | 0.57~4.20  |
| 1.2  | 1.08~1.36 | 1.03~1.44  | 0.97~1.56 | 0.90~1.80  | 0.82~2.21 | 0.72~3.58 | 0.63~13.94 |
| 1.5  | 1.31~1.76 | 1.24~1.89  | 1.16~2.12 | 1.06~2.57  | 0.96~3.50 | 0.82~8.88 | 0.70~∞     |
| 2    | 1.68~2.48 | 1.57~2.77  | 1.44~3.27 | 1.29~4.48  | 1.14~8.40 | 0.75~∞    | 0.79~∞     |
| 3    | 2.32~4.23 | 2.12~5.13  | 1.90~7.17 | 1.64~17.75 | 1.40~∞    | 1.13~∞    | 0.71~∞     |
| 5    | 3.37~9.71 | 2.95~16.26 | 2.54~∞    | 2.10~∞     | 1.72~∞    | 1.33~∞    | 1.04~∞     |
| ∞    | 10.31~∞   | 7.22~∞     | 5.16~∞    | 3.61~∞     | 2.63~∞    | 1.81~∞    | 1.31~∞     |





### カメラの構え方はこうして……

シャッターボタンを押すとき、ことに遅いシャッター速度では、カメラを動かしてしまいがちなものです。これをカメラブレといい、画面の小さいカメラでは、特にシャープな写真の仕上がりが得られない原因となります。

20 両肘をしっかりと胸につけて、カメ

ラを額と鼻に押しあてると一層安定します。

なお、カメラを構えるとき、とかくレンズや露出計の受光部に指をあててしまいがちです。これでは正確な露光が得られず、失敗の原因となりますからご注意ください。

富士フィルムを使いましょう

### フジカラー-N100



アルバムをカラーで飾るにはプリント代が安くて、色彩の美しいネガカラーが好適といえます。

23

### フジカラー-R100



普通のカラー撮影はもちろん光線の弱い室内、夜の街、ネオン、スピードの早いスポーツなどのスライド撮影に。



## 取扱い上のご注意

- シャッターボタンを押したままで、フィルムを巻上げると、巻上げの途中でシャッターが切れますから、巻上げるときは必ずシャッターボタンから指を離してください。
- 撮影済のフィルムをカメラからだし終わったら、シャッターボタンを押して、シャッターのセットを解除しておきましょう。
- カメラの清掃は、特にレンズの場合、柔らかい清潔なハケまたは柔らかい布で、軽くホコリをはらう程度にしてください。もし指紋などがついた場合は、よく洗った柔らかい木綿にアルコールを少量つけて、軽く拭いてください。ファインダー部も

同様です。

- 露出計の受光部は、レンズ同様大切に扱う必要があります。キズをつけたり、汚したりすると適正露光が得られません。もし、ホコリがついた場合は、レンズ同様にホコリをはらいおとし、汚れがついた場合は、必ず少量の水か石鹼水を使って、汚れを落してください。水と石鹼水以外は使わないでください。
- カメラを保管するときは、湿気の少ない場所に、梅雨時は革ケースからカメラをはずして、桐の箱に入れておくと湿気が防げます。(ナフタリンなどは使用しないでください。)

## 性能

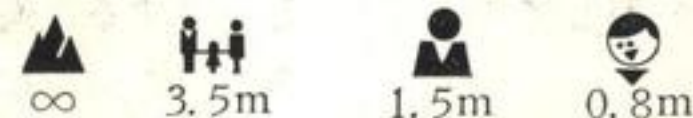
画面サイズ  
レンズ  
シャッター  
焦点調節  
ファインダー  
自動露光  
フィルム装填  
フィルターサイズ  
フィルム巻上げ  
フィルムカウンター  
寸法  
重さ

24×36mm

フジノン 1:2.8 f = 3.8 cm 4群5枚

セイコーL B  $\frac{1}{30}$   $\frac{1}{60}$   $\frac{1}{125}$   $\frac{1}{250}$  フラッシュスピード  $\frac{1}{30}$   
X接点

前玉回転式 0.8m~∞ ファインダー内 ゾーンフォーカスマーク



採光式ブライトフレームファインダー 0.5× 露光値目盛指針及び警告マーク(露光不足) ゾーンフォーカスマーク パラ補正マーク付  
セレン光電池によるプログラムEE マニュアルコントロール可能  
露光指数目盛 ASA 12~200 DIN 12~24 連動範囲 EV 8~17  
(ASA 100のとき)

イージーローディング

40.5φ P=0.5 ネジ込み式

ボディ上部レバー式 1作動巻上げ

順算式裏蓋開閉による自動復元

121.0×74.5×58.0mm

440g



富士フイルム

# 富士写真フイルム株式会社

フジカ サービス ステーション

|     |                                     |      |                  |
|-----|-------------------------------------|------|------------------|
| 東京  | 東京都中央区日本橋本石町4の6中井ビル 富士フイルム東京支社内     | 〒103 | 電話 (270)9811(代)  |
| 東京  | 東京都中央区銀座西5の4 スキヤ橋 富士フォトサロン          | 〒104 | 電話 (571)9411     |
| 札幌  | 札幌市大通り西5の11大五ビル 富士フイルム札幌出張所内        | 〒060 | 電話 (24) 7161(代)  |
| 新潟  | 新潟市河渡町70の1 新潟フジカラー現像所内              | 〒950 | 電話 (47) 1341     |
| 仙台  | 仙台市元寺小路172日本オフィスビル 富士フイルム仙台出張所内     | 〒980 | 電話 (21) 2601(代)  |
| 名古屋 | 名古屋市中区栄2の10の19商工会議所ビル 富士フイルム名古屋出張所内 | 〒460 | 電話 (221)6181(代)  |
| 大阪  | 大阪市東区備後町4の15 富士フイルム大阪支社内            | 〒541 | 電話 (203)5212(大代) |
| 岡山  | 岡山市西中山下36 有森ビル2階                    | 〒700 | 電話 (23) 4876     |
| 石川  | 金沢市堀川町5の10 堀川ビル                     | 〒920 | 電話 (62) 7857     |
| 広島  | 広島市大手町2の11の15 新大手町ビル 富士フイルム広島出張所内   | 〒730 | 電話 (48) 0281(代)  |
| 高知  | 高知市日の出町158 高知現像所内                   | 〒780 | 電話 (5) 7783      |
| 福岡  | 福岡市天神1の14の1日本生命ビル 富士フイルム福岡出張所内      | 〒810 | 電話 (74) 0231(代)  |